

海況情報（第10報） -令和7年1月19日調査分-

佐賀県有明水産振興センター

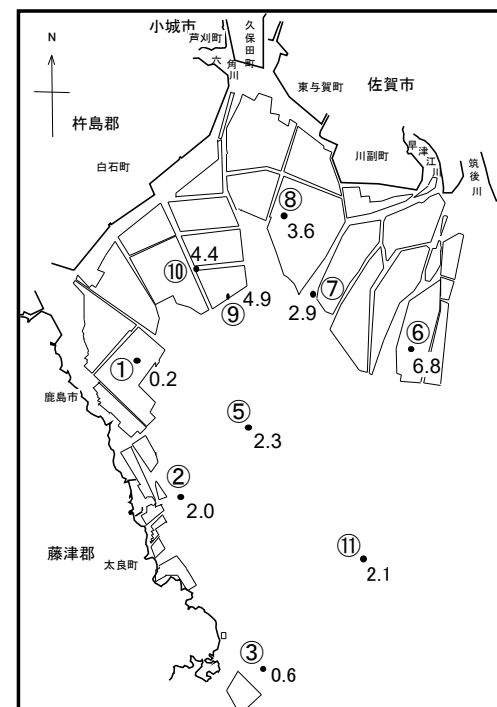
水 温 : 10地点平均は10.8℃で、前回調査時（12月19日、以下同様）より2.3℃低く、
 平年と比べてかなり高めとなっています。

比 重 : 10地点平均は22.6で、前回調査時より0.1高く、平年並となっています。

DIN(窒素) : 10地点平均は3.0 $\mu\text{g-at/L}$ で、前回調査時より0.1 $\mu\text{g-at/L}$ 低く、
 平年と比べてやや低めとなっています。

DIP(リン) : 10地点平均は0.5 $\mu\text{g-at/L}$ で、前回調査時より0.3 $\mu\text{g-at/L}$ 低く、
 平年と比べてやや低めとなっています。

プランクトン沈殿量 : 10地点平均は144.8 mL/m^3 で、前回調査時より100.4 mL/m^3 多く、
 平年と比べて甚だ高めとなっています。



■ DIN（窒素）の表層における水平分布

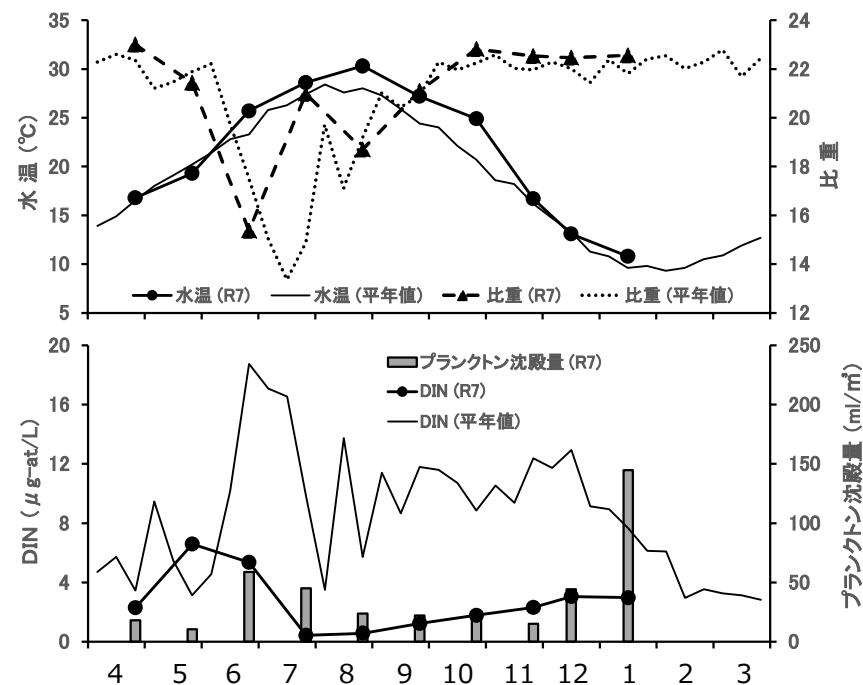
■ 表層の観測結果

地点	①	②	③	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	平均値	平年値 ^{※3}
水 温 (℃)	10.3	10.3	11.2	10.8	10.8	10.9	10.7	10.6	10.5	12.0	10.8	9.6
比 重	22.3	22.3	23.0	22.8	22.1	22.8	22.4	22.1	22.2	23.6	22.6	21.8
DIN(窒素) ^{※1} ($\mu\text{g-at/L}$)	0.2	2.0	0.6	2.3	6.8	2.9	3.6	4.9	4.4	2.1	3.0	7.6
DIP(リン) ($\mu\text{g-at/L}$)	0.4	0.4	0.4	0.5	0.8	0.5	0.6	0.7	0.6	0.5	0.5	0.7
プランクトン ^{※2} (mL/m^3)	169.4	133.3	157.6	106.1	118.0	236.4	134.4	145.5	113.9	133.3	144.8	22.4

※1 DIN(窒素)はアンモニア態窒素・亜硝酸態窒素・硝酸態窒素の総和です。

※2 プランクトンは24時間後の沈殿量です。

※3 平年値は1991年から2020年までの30年間の旬別平均値です。



■ 10地点平均値（表層）の月別推移